

# 近代日本の小学校建築史

## 鉄筋コンクリート造校舎の成立と展開

川島 智生 著

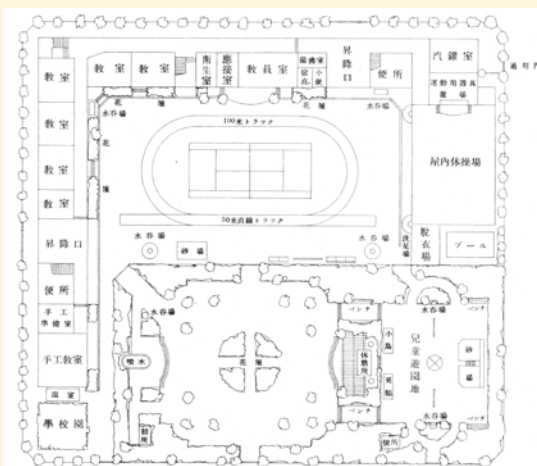
A4 判上製函入 本文 448 頁

ISBN 978-4-8055-0982-1 C 3052 2024 年 3 月刊

定価 33,000 円 (本体 30,000 円 + 税 10%)



泰明小学校 (東京都・関東大震災前)



小学校仮想平面図 (学級数 24) 其の一配置図及び 1 階平面図  
(『学校建築参考図集』)

大正期に建設が始まった近代日本の鉄筋コンクリート造による小学校はその豊かな建築類型にもかかわらず、近年老朽化による建て替えなどで次々と失われている。本書は長年にわたり、400 校にせまる全国の近代小学校建築の調査に携わってきた著者による、その実態に迫る歴史的な考究である。

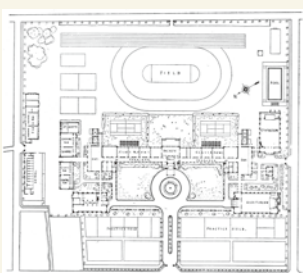
# 近代日本の鉄筋コンクリート造小学校建築についての歴史的な考究

## 目次

序	第一部 小学校建築の通史（一八六八〜一九四五）
	第一章 明治大正昭和の全体
	第二章 わが国鉄筋コンクリート造 小学校校数の探求（一九二〇〜一九四二）
	第二部 鉄筋コンクリート造校舎の誕生先行する関西
	第一章 神戸市における 鉄筋コンクリート小学校建築
	第二章 大阪市における 鉄筋コンクリート小学校建築
	第三章 京都市における 鉄筋コンクリート小学校建築
	第三部 関東大震災復興小学校
	第一章 関東大震災と復興小学校
	第二章 東京市の小学校建築
	第三章 横浜市の小学校の建築特徴
	第四部 関西大風水害復興校舎
	第一章 大阪市の復興校舎
	第二章 大阪府下ならびに 守口町の復興校舎
	第三章 京都市の復興校舎
	第五部 全国各地の様態
	第六部 地方都市での様態
	第一章 函館市の小学校と函館大火
	第二章 山形県下の小学校
	第三章 石巻市の小学校
	第四章 名古屋市の小学校
	第五章 鳥羽市の小学校
	第六章 滋賀県下の小学校
	第七章 奥丹後地震と震災復興校舎
	第八章 奈良市の小学校と講堂
	第九章 兵庫県旧武庫郡の小学校
	第一〇章 尼崎市の小学校
	第一一章 北但大震災と復興校舎
	第一二章 尾道市の小学校
	第一三章 福岡市の小学校
	第一四章 長崎市の小学校
	第一五章 熊本県下の小学校
	第一六章 沖縄県下の小学校
結	



鳥羽小学校（三重県）正面



豊郷小学校（滋賀県）配置図  
『ウォーリス建築事務所作品集  
1908-1936』城南書院（昭和12年）



久保小学校（広島県）外観

## 【著者略歴】

川島智生（かわしま・ともお）

1957年生まれ。

京都工芸繊維大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。  
神戸女学院大学講師、京都大学研修員、京都華頂大学教授  
を経て、現在 神戸情報大学院大学客員教授。大手前大学  
史学研究所客員研究員。専門は日本近代建築史。

## 著作

『戦後モダニズムの学校建築』鹿島出版会、2024年

『宝塚 温泉リゾート都市の建築史』

関西学院大学出版会、2022年

『NISSHA 本社工場の淵源

1898-1948 明治期煉瓦造の工場建築史』NISSHA、2021年

『近代神戸の小学校建築史』関西学院大学出版会、2019年

『近代大阪の小学校建築史』大阪大学出版会、2017年

『近代京都における小学校建築』ミネルヴァ書房、2015年

『関西のモダニズム建築—1920年代～60年代、空間に

あらわれた合理・抽象・改革』（共著）淡交社、2013年

『ビール醸造史と産業遺産』淡交社、2013年

『近代奈良の建築家 岩崎平太郎の仕事—武田五一・

亀岡末吉とともに』淡交社、2011年

『民芸運動と建築』（共著）淡交社、2010年

## 関連書籍

### 戦前期の地方都市における 近代都市計画の動向と展開

浅野純一郎 著

戦前期の全国42地方都市の沿革、成立、変遷を論じた現代  
につながる都市のコスモロジー。

対象都市・札幌、函館、小樽、仙台、新潟、長岡、富山、高岡、  
金沢、長野、松本、岐阜、大垣、静岡、浜松、清水、豊橋、岡崎、  
一宮、津、堺、尼崎、西宮、和歌山、岡山、広島、呉、下関、高松、  
丸亀、高知、福岡、門司、小倉、若松、八幡、戸畑、大牟田、長崎、  
佐世保、熊本、大分、鹿児島。

定価 9,900円（本体価 9,000円 + 税 10%）

A5 判上製函入 本文 338頁 挿図 86点

ISBN 978-4-8055-0583-0 C3052

2008年10月刊

### 地方都市における 戦後都市計画

戦災復興から現在まで

浅野純一郎 著

都市はいかに再構築されたのか—

戦災によって被害を受けた地方都市に焦点をあて、戦災復興  
都市計画の特徴やその後の市街地形成経過への影響を  
明らかにしていくことで、戦後の都市計画や市街地展開の  
実態に迫る。

定価 7,480円（本体価 6,800円 + 税 10%）

A5 判上製カバー装 本文 364頁

ISBN 978-4-8055-0883-1 C3051

2020年12月刊

### 旧軍用地と戦後復興

今村洋一 著

終戦によって遊休国有地となった旧軍用地が、どのよう  
に都市に組みこまれ、戦後復興が図られたのかを、全国  
的な動態と個別の都市の具体例から包括的に考究し、戦  
後史としてだけでなく、人口減少時代を迎えた現代の  
土地活用と都市計画の課題にも広く示唆を与える気鋭の  
論文集。

【日本不動産学会著作賞（学術部門）受賞】

定価 7,150円（本体価 6,500円 + 税 10%）

A5 判上製カバー装 本文 368頁 挿図 150点

ISBN 978-4-8055-0780-3 C3051

2017年1月刊

# 中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル 6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

website <https://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱い